

令和 6 年度
下水道に関する事故発生状況について
(令和 6 年 5 月末時点)

1. 人身事故（総括）
2. 維持管理作業事故
3. 工事事務
4. 水質事故等

国土交通省 水管理・国土保全局
上下水道企画課
下水道事業課

1.人身事故(総括)

(令和6年5月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月までの集計	年度合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)	0 (0)
	2. 負傷事故	5 (2)	2 (4)											7 (39)	7 (39)
	合計	5 (2)	2 (4)											7 (39)	7 (39)
	累計	5 (2)	7 (6)											-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)											0 (5)	0 (5)
	2. 負傷事故	5 (6)	4 (0)											9 (74)	9 (74)
	合計	5 (6)	4 (0)											9 (79)	9 (79)
	累計	5 (6)	9 (6)											-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)											0 (5)	0 (5)
	2. 負傷事故	10 (8)	6 (4)											16 (113)	16 (113)
	合計	10 (8)	6 (4)											16 (118)	16 (118)
	累計	10 (8)	16 (12)											-	-

※下段()書きは前年度(令和5年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.維持管理作業事故 (令和6年5月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	2 (0)	1 (0)											3 (0)
	2. 政令市	0 (1)	1 (0)											1 (1)
	3. 一般市	3 (1)	0 (3)											3 (4)
	4. 町村	0 (0)	0 (1)											0 (1)
	5. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	合計	5 (2)	2 (4)											7 (6)
発生施設	1. 管渠	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. マンホール	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	3. 処理場	4 (1)	2 (2)											6 (3)
	4. ポンプ場	1 (1)	0 (1)											1 (2)
	5. その他	0 (0)	0 (1)											0 (1)
	合計	5 (2)	2 (4)											7 (6)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	負傷事故	5 (2)	2 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (6)
	1. 墜落・転落	2 (1)	2 (1)											4 (2)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	4. 切れ・こすれ	1 (0)	0 (1)											1 (1)
	5. 転倒	2 (0)	0 (2)											2 (2)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	12. 公衆災害	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	合計	5 (2)	2 (4)											7 (6)

(単位:人)

被災者数	1. 自治体職員	0 (0)	0 (1)											0 (1)
	①死亡	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	②負傷	0 (0)	0 (1)											0 (1)
	2. 委託先業者	4 (1)	2 (3)											6 (4)
	①死亡	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	②負傷	4 (1)	2 (3)											6 (4)
	3. 第三者	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	①死亡	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	②負傷	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	合計	4 (2)	2 (4)											6 (6)
	累計	4 (2)	6 (6)											- -

※()書きは、前年度(令和5年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

維持管理作業事故情報データベース

令和6年5月末時点

NO.	発生日月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者				
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況	
5月											
1	R6.5.24	都道府県	処理場	①墜落・転落	水処理棟地下管廊にて生汚泥の濃度測定中、高さ2.6mのステージ上からコンクリート製床面に転落し、ヘルメット着用状態で後頭部を打撲。	・被災箇所についての緊急は正として、身体を支えるべきチェーンが外れないよう、被災箇所のチェーン固定フックを加工済（U型からO型へ変更） ・同様の形状のチェーン固定が複数あったためは正 ・事故内容の周知及び危険予知活動並びに再発防止対策の徹底について指示 ・対策会議実施	委託先業者	52	男	右肩甲骨骨折・脳震盪による健忘	
2	R6.5.31	政令市	処理場	①墜落・転落	電気室屋上雨漏り対応中、降りようとした際に、屋上（庇）から転落し、多発骨折（左横突起・骨盤）（入院3週間）および脳出血（外傷性クモ膜下出血）した。 ・他作業員は、梯子を支えていなかった ・ハーネスは装着していたが、フックを掛けていない状態であった	・策定中	委託先業者	62	男	多発骨折（左横突起・骨盤）（入院3週間） 脳出血（外傷性クモ膜下出血）	

 : 死亡事故 : 負傷事故

3.工事事故
(令和6年5月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)	1 (2)											2 (2)
	2. 政令市	1 (6)	0 (4)											1 (10)
	3. 一般市	2 (5)	3 (0)											5 (5)
	4. 町村	1 (0)	0 (0)											1 (0)
	5. その他	1 (0)	0 (0)											1 (0)
	合計	6 (11)	4 (6)											10 (17)
工事分類	1. 管きょ開削	3 (6)	2 (6)											5 (12)
	2. 管きょ推進	0 (1)	1 (0)											1 (1)
	3. 管きょシールド	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	4. 管きょその他	1 (0)	0 (0)											1 (0)
	5. 処ボ土木建築	1 (3)	1 (0)											2 (3)
	6. 処ボ機械電気	1 (1)	0 (0)											1 (1)
	7. 処ボその他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	合計	6 (11)	4 (6)											10 (17)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	負傷事故	5 (6)	4 (0)											9 (6)
	1. 墜落・転落	3 (1)	1 (0)											4 (1)
	2. はさまれ・巻き込まれ	2 (1)	2 (0)											4 (1)
	3. 飛来・落下	0 (1)	1 (0)											1 (1)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	物損事故	1 (5)	0 (6)											1 (11)
	12-2. 公衆災害(物損)	1 (5)	0 (6)											1 (11)
	合計	6 (11)	4 (6)											10 (17)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数	1. 死亡	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. 負傷	5 (6)	4 (0)											9 (6)
	合計	5 (6)	4 (0)											9 (6)
	累計	5 (6)	9 (6)											- -

※()書きは、前年度(令和5年度)の値
※国土交通省へ報告のあった事故について集計

工事事故情報データベース

令和6年5月末時点

No.	発生年月日							被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
5月										
1	R6.5.20	3.一般市	2.管きょ推進	人孔設置工	立坑内の2号人孔据付作業中、直壁の据付をしている際に、足場より足を滑らせ墜落して負傷した。	現場内	1.墜落・転落	49	男	右踵骨開放骨折
2	R6.5.20	3.一般市	1.管きょ開削	舗装工	舗装本復旧にむけた路盤整正作業中、罹災者がBHの死角に立ち入り雑草除去していた際にBHにはさまれた。誘導者は誘導に専念していたものの、近隣住民から話しかけられた結果、専念を怠り死角に入った作業員に気付かなかった。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	69	男	左足の脛骨、腓骨骨折
3	R6.5.21	3.一般市	1.管きょ開削	土工	雨水管を布設するため、市道の掘削作業を行っていたところ、隣接する三面張り水路が崩壊し、水路上部にいた作業員が転落。 作業員が掘削底面に着地後、水路上蓋が作業員の右足に落下し、負傷した。	現場内	3.飛来・落下	58	男	足の骨折
4	R6.5.31	1.都道府県	5.処ボ土木建築	キャストابل練、レンガ運搬配り	キャストابل(耐火コンクリート)をモルタルミキサで練り混ぜ中、排出状況が悪くなったため、排出口へ左手を入れ掻き出そうとしたところ、回転中の羽根に指を巻き込まれ被災した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	62	男	指の負傷

:死亡事故

:負傷事故

:物損事故

4.水質事故等 (令和6年5月末時点)

[総括]

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水質事故等 合計	2 (5)	3 (5)											5 (10)
累計	2 (5)	5 (10)											-

[内訳]

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (1)	0 (2)										0 (3)
	2. 政令市	2 (0)	1 (1)										3 (1)
	3. 一般市	0 (4)	1 (2)										1 (6)
	4. 町村	0 (0)	1 (0)										1 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	合計	2 (5)	3 (5)										5 (10)
発生施設	1. 管渠	2 (2)	2 (4)										4 (6)
	2. マンホール	0 (3)	0 (1)										0 (4)
	3. 処理場	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	5. その他	0 (0)	1 (0)										1 (0)
	合計	2 (5)	3 (5)										5 (10)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	1 (3)	2 (5)										3 (8)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (2)	0 (0)										0 (2)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	1 (0)	1 (0)										2 (0)
	合計	2 (5)	3 (5)										5 (10)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	1 (0)										1 (0)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (5)	1 (5)										3 (10)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	水質事故 合計	2 (5)	2 (5)										4 (10)
	その他案件	0 (0)	1 (0)										1 (0)
	水質事故等 合計	2 (5)	3 (5)										5 (10)
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	② 耐用年数以内	1 (1)	1 (0)										2 (1)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	合計	1 (1)	1 (0)										2 (1)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()書きは、前年度(令和5年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和6年5月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	事故への対応
5月						
1	R6.5.8	2.政令市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	県道の道路路肩より汚水が流出しているところ、令和5年度に漏水のあった箇所の近傍であり、φ300圧送管が損傷していると想定。 ・当該圧送管の二条化に向けた改築更新実施設計業務を実施しており、漏水の原因も調査中。今年度、改築更新工事を実施予定。 ・出汚水をバキューム車で吸引、汚水中継ポンプ場からの圧送停止により、汚水の流出停止 ・発見時から復旧完了まで片側交互通行の実施 ・原因特定・管渠の復旧完了・埋め戻し復旧まで完了 ・湾に隣接するため、必要に応じて水質調査を実施
2	R6.5.21	2.政令市	その他	その他案件	—	・宅地内であったことから、埋設位置を示す目印も無く、埋設物の位置を特定せず作業してしまったことが原因と考えられるため、作業前に埋設物の位置確認を徹底する ・不明な点がある場合は、埋設物管理者に問い合わせを行う ・調査箇所と地下埋設物が近接している際は、慎重に作業を進める
3	R6.5.23	2.政令市	管渠	水質事故	④雨水管からの悪質下水の流出	企業敷地内の重油配管が損傷し、配管専用のトラフ内に重油が漏れ出したと連絡が入り、社内施設の点検を実施した結果、配管の損傷および重油が充満していることを発見。 ・漏れ出した重油及び周辺土壌を除去済 ・雨水管渠出口と、排水機場吸水ボックス入口手前にオイルフェンスを設置済